

第 1 号議案

令和元年度事業報告及び収支決算について

1 令和元年度事業報告について

第 3 6 事業年度

（ 自 平成 3 1 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 3 1 日 ）

当財団は、県内企業の総合的支援機関として、新産業創出や経営革新への支援、産業技術の高度化や科学技術の振興、産学官の共同開発研究への支援などに取り組んでいる。

令和元年度は、既存の取組みに加え、中小企業者が取り組む地域資源を活用した商品やサービス等の販路拡大を後押しし、より多くの成約へと導くため、公益財団法人全国中小企業振興機関協会の中小企業地域資源活用等促進事業助成金を活用して「地域資源販路拡大支援事業」を開始した。

各事業右記載の金額は、経常費用の額である。

公益目的事業

新産業の創出や地域産業の革新、地域企業の経営基盤強化のための相談・指導、情報提供、助成及び資金貸付等の事業

決算額

1. 新事業創出等支援事業(県補他)

4 2 , 6 0 0 千円

県内企業の新事業の創出や経営革新などを積極的に推進するため、本県の中核的支援機関として各支援機関と連携を取りながら、研究開発から事業化、販路開拓に至るまでの総合的な支援を実施した。また、円滑な事業承継を促すため、国からの委託により事業承継ネットワーク参加機関と連携し、事業者が円滑な事業承継を行うための個者支援を実施した。

相談事業	専門家による窓口相談や巡回相談などにより、中小企業の経営力の向上（経営革新・農商工連携・地域資源活用・販路開拓・経営改善等）、創業・再チャレンジ、事業承継等の課題に対する指導助言を行うとともに、企業ニーズの把握や事業化シーズの発掘等に努めた。 なお、「認定支援機関」として、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の計画作りを支援するとともに、国の補助金申請のための確認書発行業務を行った。	1 , 0 6 6 件
------	---	-------------

専門家派遣事業	地域の支援機関の要請等に基づき専門家を派遣し、中小企業の高度・専門的な経営課題の解決を図る。	—
支援体制整備事業	地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催した。(令和元年5月10日)	1回
さぬき市中小企業等経営支援相談事業	さぬき市から同市内の商工業者などを対象とした経営革新等に関する相談業務を受託し、相談日に専門家を派遣した。	個別9回
事業承継ネットワーク運営事業	県内企業の事業承継への意識を喚起するため、平成29年度に構築した、商工会・商工会議所・金融機関等を構成機関とする事業承継ネットワークにおいて、事業承継診断の実施や事業承継計画策定支援、連絡会議での情報共有を行った。さらに、香川県事業承継コーディネーター1名、事業承継ブロックコーディネーター3名を配置した「香川県事業承継支援窓口」において、事業承継診断により掘り起こされた支援ニーズに対して個者支援を実施した。また、事業承継支援担当者向け研修会や企業向け事業承継セミナーの開催、県内企業約5,000社を対象とした事業承継に係る実態調査を行った。	会議1回 事業承継診断2,287件 計画策定支援349件 事業承継支援窓口による個者支援320件 専門家派遣6件

2. 創業促進事業(国委)

59千円

平成25年度～平成27年度、起業・創業、第二創業を行う者に対して、経費の一部を補助する事業を行った。その補助事業者に対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構から委託を受け、フォローアップを行った。

3. 新規創業・創業後支援事業(県補)

2,430千円

(1) 創業支援塾事業

県内での創業を目指す者を対象に、創業に当たっての実務ポイントを体系的かつ体系的に学習でき、かつ具体的なビジネスプランが策定できるよう、実践的な創業支援塾を開講することにより、創業の促進を図った。

○ かがわ創業塾

日時	受講者
令和元年7月3日～8月2日 (全5回)13時～17時	58名(うち全課程修了者28名)

(2) 創業後個別フォロー・創業事例発表会開催事業

創業後間もない方を対象に、個別課題に対する相談窓口を設けるとともに、創業の成功事例の発表の機会や情報交換の機会を設けるなど、ネットワークづくりを促進し、廃業の抑止等につなげた。

創業後フォロー(専門家配置事業)

専門家：笠居 昭司、川上 実、筒井 恵

開催月	件数	時間	開催月	件数	時間
4月	-	-	10月	11	21
5月	-	-	11月	13	21
6月	13	21	12月	8	21

7月	11	21	1月	10	21
8月	13	21	2月	12	21
9月	9	21	3月	5	7

総数：105件、196時間

創業シンポジウム（創業事例発表会開催事業）

日時 令和2年1月23日 13時～16時50分

場所 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室

○ 特別講演

『地方から世界へ ～どん底から夢を叶えた生き方～』

講師：株式会社グラディア 代表取締役 森本 麻紀 氏

○ 事例発表

・『夫婦で始める、これからの街の本屋』

発表者：本屋ルヌガンガ 店主 中村 勇亮 氏

・『小豆島×地ビール ～脱サラ、島移住、事業開始～』

発表者：まめまめびーる 醸造家 中田 雅也 氏

・『目指せ！植物パラダイス』

発表者：Kaorin 店主 山下 香里 氏

○ パネルディスカッション

株式会社グラディア 代表取締役 森本 麻紀 氏

本屋ルヌガンガ 店主 中村 勇亮 氏

まめまめびーる 醸造家 中田 雅也 氏

Kaorin 店主 山下 香里 氏

中小企業診断士 梅澤 秀樹 氏

4．起業等スタートアップ支援事業（県補）

14,161千円

地域の諸課題の解決を通じた地域活力の向上を図ることを目的に、県内で創業する者や新たなビジネスや雇用の創出などを促し、地域の経済の活性化を図ることを目的として、県内で創業や第二創業等を行う者に対して、創業等に要する経費の一部を補助した。

類型	対象事業	補助金上限額	申請／採択件数
地域課題 解決型	地域活性化関連、子育て支援などの社会的事業分野で、地域資源を生かして地域の課題の解決に資する事業	200万円 (補助率 1/2 以内)	24件／9件
先端技術 活用型	次の先端技術を活用した事業 CNF 等高機能素材 3D積層造形技術 ロボット技術 ICT、IoT、AI等	500万円 (補助率 1/2 以内)	3件／0件

5．中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点）(国委)

56,354千円

中小企業・小規模事業者への支援体制を強化するため、「香川県よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名とサブチーフコーディネーター1名、コーディネーター8名を配置

し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイス、個別事案に最適な支援チームの編成などによる中小企業支援事業を国から委託を受け実施した。

また、中小企業の経営者等を対象に、セミナーを開催した。

- 相談対応件数 令和元年度 2,985件（平成30年度 3,288件）
- よろずセミナー実施回数 令和元年度 35回（平成30年度 17回）

6. 農業の6次産業化等促進事業（県委）

2,204千円

県から委託を受け、6次産業化にむけた取り組みを支援するため、「かがわ6次産業化推進センター相談窓口」を設置した。農林漁業者等へのサポート活動として、6次産業化プランナーの派遣やセミナー等を開催し、すでに実践する農林漁業者のフォローアップや志向する農林漁業者等に対して個別指導や助言を実施した。

- (1) かがわ6次産業化推進センター相談窓口を設置、専任プランナーを委嘱

専任プランナー 3名を委嘱

- (2) 総合化事業計画認定事業者のフォローアップ

相談件数 26件

- (3) 6次産業化事業相談

相談件数 51件

- (4) 新規総合化事業計画作成支援

総合化事業計画認定申請件数 1件

- (5) かがわ6次産業化ビジネス塾の開催

農林水産業と活力ある農山漁村づくりを担う人材・地域リーダーを育成するため、事業実施に必要な知見を得るための講義と販売加工を実践的に体験するインターンシップを組み合わせた研修を実施した。

販売力強化講座

日時	テーマ	講師	会場
9月11日	販売力と HACCP、品質管理	(株)モーションマインド総合研究所 代表取締役 安並 信治 氏	香川産業頭脳化センタービル4階第4会議室
9月17日	商品カルテ、企画提案書の重要性（基礎編）	(株)モーションマインド総合研究所 代表取締役 安並 信治 氏	RIST かがわ会議室
9月24日	商品カルテ、企画提案書の重要性（撮影編）	(有)仁田デザイン事務所 Studio J 仁田 慎吾 氏	RIST かがわ会議室
9月30日	商品カルテ、企画提案書の重要性（ブラッシュアップ編）	(株)モーションマインド総合研究所 代表取締役 安並 信治 氏	香川産業頭脳化センタービル1階専門研修室
11月7日	見本市事後フォローアップの強化方法	生産者直売のれん会	香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室
11月14日	インターネット・SNSを活用した情報発信	ADU(株) 代表取締役 宇田 名保美 氏	RIST かがわ会議室

販売力強化講座（西讃会場）

日時	テーマ	講師	会場
9月17日	商品カルテ、企画提案書の重要性（基礎編）	(株)モーションマインド総合研究所 代表取締役 安並 信治 氏	三豊市役所危機管理センター2階202会議室
9月25日	商品カルテ、企画提案書の重要性（撮影編）	(有)仁田デザイン事務所 Studio J 仁田 慎吾 氏	三豊市役所危機管理センター2階201会議室
9月30日	商品カルテ、企画提案書の重要性（ブラッシュアップ編）	(株)モーションマインド総合研究所 代表取締役 安並 信治 氏	みとよ未来創造館

開発力向上講座

日時	テーマ	講師	会場
10月11日	売れる商品作りのポイント	こだわり食品きしな屋 代表 岸菜 賢一 氏	RIST かがわ会議室
10月23日	相手の心を捉えるプレゼンテーション	こだわり食品きしな屋 代表 岸菜 賢一 氏	香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室
2月26日	商品ブラッシュアップ 商品化以前のポイント、個別相談	こだわり食品きしな屋 代表 岸菜 賢一 氏	香川産業頭脳化センタービル3階第3会議室

実習研修

日時	テーマ	講師	会場
11月1日	ドレッシングの製造実習と食品加工設備体験	ガイナファーム(株) 代表取締役 石田 勝人	ガイナファーム(株)
1月28日	マーケティング実習 店頭販売等	こだわり食品きしな屋 代表 岸菜 賢一 氏	きしな屋

7. 知財総合支援窓口運営業務（国請負）

35,427千円

中小企業等の知的財産マインドの向上や知的財産の活用を促進するため、「知財総合支援窓口」を設置・運営し、配置した知財の専門知識を有する窓口支援担当者等と知財専門家（弁理士・弁護士）が協働して、中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決できる相談・支援を行うとともに、企業経営の中で実施するノウハウも含めた知的財産活動を、アイデア段階から事業展開まで一貫した支援を行うほか、県内各地での知的財産セミナー等の開催や中小企業等への個別訪問を通じて、知的財産の重要性等の普及啓発を行った。

（1）相談件数等

項目	内 容	実 績
相談件数	支援窓口での知的財産に関する相談件数	1,456件
うち新規相談件数	支援窓口での知的財産に関する新規相談件数	177件

うち訪問指導件数	知財専門家等が企業訪問して指導した件数	218件
知財専門家活用件数	支援窓口での知財専門家（弁理士、弁護士）を活用した相談件数	198件
訪問企業数	支援窓口の普及啓発のために訪問した企業数	174社

（２）初心者向け知的財産権制度入門講座

	開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
第１回	令和元年 5月31日	香川産業頭脳化センタービル1階専門研修室	事業と知的財産（概要）	弁理士 壬生 優子 氏	10名
第２回	令和元年 6月7日		特許・実用新案入門	弁理士 京和 尚 氏	20名
第３回	令和元年 6月21日		意匠入門	弁理士 松島 理 氏	16名
第４回	令和元年 6月28日		商標入門	弁理士 松島 理 氏	19名
第５回	令和元年 7月5日		侵害対策とその他の知的財産権	弁理士 中井 博 氏	20名

（３）初心者向け知的財産権制度出前講座

	開催日時	対象企業等	テーマ	講師	受講者数
第１回	令和元年 7月17日	（株）レクザム	技術者向けJ - P l a t P a tの使用方法	弁理士 洲崎 竜弥 氏	26名
第２回	令和元年 8月5日	（株）サムソン	技術者向けJ - P l a t P a tの使用方法	窓口支援担当者 黒田 茂 氏	22名
第３回	令和元年 8月29日	香川県中小企業家同友会	経営者が知っておくべき知的財産	弁理士 洲崎 竜弥 氏	12名
第４回	令和元年 9月20日	かどや製油（株）	初心者向け知的財産権制度	弁理士 中井 博 氏	17名

（４）知的財産セミナー

	開催日	開催場所	テーマ	講師	参加者数
第１回	令和元年 7月11日	香川産業頭脳化センタービル1階専門研修室	企業価値を高めるブランド戦略	（一財）知的資産活用センター 吉栖 康浩 氏	38名
第２回	令和元年 8月2日		グッドウィルと企業戦略	（一財）知的資産活用センター 吉栖 康浩 氏	25名
第３回	令和元年 8月27日	小豆島町役場西館2階会議室5	小豆島ブランドを世界に！	レクシア特許法律事務所 山田 威一郎 氏	19名
第４回	令和元年 9月12日	香川産業頭脳化センタービル1階専門研修室	デザインによるイノベーション創出	明和総合特許デザイン事務所 藤掛 宗則 氏	15名

第5回	令和元年 9月18日	新坂出商工会館 202・3会議室	海外ビジネスと 知財対策	(独)INPIT 久永 道夫 氏	14名
			海外での商標権 の取得	WIPO日本事務 所 目黒 潤 氏	
第6回	令和元年 10月11日	香川産業頭脳化 センタービル1 階専門研修室	ホントは怖い著 作権 ~ ネット 時代の落とし穴 ~	(株)ループホール 城田 晴栄 氏	29名
第7回	令和元年 12月3日	香川産業頭脳化 センタービル1 階専門研修室	守りの農業から 攻めの農業へ ~ 農業知的財産 セミナー~	東京理科大学 大学 院 生越 由美 氏	39名

8．知的財産活性化事業（県補）

7,291千円

県内企業等の知的財産の創造・保護を促進するため、「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、配置した知的財産権の活用を図る特許流通コーディネーターが、知的財産に関する情報収集・提供を行うとともに、知的財産の活用を促進するため、県内企業等への相談や訪問相談を行った。

相談件数等

項 目	内 容	実 績
来訪者相談件数	特許流通に関する相談件数	25件
訪問企業数	特許流通のために訪問した企業数	146社

9．知的財産活用促進事業（県補）

5,328千円

県内企業等の知的財産の活用による競争力強化を促進するため、「香川県知的所有権センター」が、知的財産を活用した経営や新たな事業展開に取り組む県内企業等の経営者等を対象に、日本弁理士会と連携した、「かがわ知財経営塾」を5回開催するなど、きめ細かな支援を行うとともに、大企業等が保有する開放特許の活用を通じて、県内企業の新商品開発や新たな事業展開を促進するため、「知財マッチング in かがわ2019」を開催し、大企業等とのマッチングの機会を提供した。

(1) かがわ知財経営塾

	開催日	開催場所	テーマ	講 師	受講者数
第1回	令和元年 10月1日	香川産業頭脳化セン タービル1階 専門研修室	経営に知財を活 かす	ディスプレイ(株) 桑原 良弘 氏	26名
第2回	令和元年 10月8日		意匠・商標の活 用	CP Japan 綜 合特許事務所 田中 咲江 氏	25名
第3回	令和元年 10月15日		多様な知的財産 の活用	かわすみ特許商標事 務所 川角 栄二 氏	20名
第4回	令和元年 10月29日		オープン・クロ ーズ戦略	松本特許事務所 松本 文彦 氏	20名

第5回	令和元年 11月5日		トラブル防止・ グローバル展開 に備える	三原・信末特許事務 所 信末 孝之 氏	25名
-----	---------------	--	----------------------------	---------------------------	-----

(2) 知財マッチング

知財マッチング in かがわ2019	日時：令和元年11月13日 10時～16時 場所：サンメッセ香川2階 大会議室、中会議室 参加者：開放特許紹介： 大企業等8社、県内企業24社34名 パネル等展示： 大企業等12社、県内企業47社69名 個別面談・件数：大企業等8社、県内企業17社 50件 知財マッチングセミナー： 参加者数 23社33名
-----------------------	--

10．中小企業等外国出願支援事業（国補）

4,985千円

中小企業等における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等を対象に、令和元年5月～10月の間に3回募集し、8社、10件（特許6件、商標4件）に対して、外国への特許出願等に要する費用の一部を助成した。

11．プロフェッショナル人材戦略拠点事業（県委）

26,512千円

プロフェッショナル人材（新たな商品、サービスの開発等、企業の成長戦略を具現化していく人材）の地方還流を促すために設置された「プロフェッショナル人材戦略拠点」において、戦略マネージャー1名と複数のサブマネージャー及びアシスタントを配置し、地域の金融機関等と連携しつつ、地域の中堅中小企業におけるプロフェッショナル人材のニーズを把握し、企業の成長戦略を支援していく事業を、県から委託を受け実施した。

- プロフェッショナル人材成約件数 78件
(平成30年度成約件数 62件)

12．経済研究情報事業（県補他）

9,412千円

インターネットや情報誌等を活用した産業情報の提供を行ったほか、企業の情報化を支援するための情報化相談事業、人材育成のための新入社員研修等を実施した。

また、独創的なビジネスプランで新規創業しようとする企業や独自のビジネスモデルを構築した企業を表彰した。

(1) 経済研究情報提供事業

インターネットや情報誌等による産業情報の提供を行った。

内 容	回 数 等
財団ホームページやメールマガジンによる情報発信	常時
情報誌「かがわ産業情報21」の発行	4回

(2) かがわ型新ビジネスモデル奨励事業

創造的な技術や商品、サービスなどを新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、斬新的なビジネスプランと、独自のビジネスプランを樹立し成功した先進的モ

デルを募集・表彰した。

かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019

- ・応募総数15件
- ・特典：最大200万円の助成金、インキュベーション施設の無料提供、特別低利融資等

	ビジネスプラン	事業者
最優秀賞	ブロックチェーンを活用した医療機関共通診療・予約・呼び出しアプリケーションの開発	(株)Dreamly
優秀賞	建築職人育成事業 匠の学舎アカデミーの運営	(一社)匠の学舎
優秀賞	農商工交流を活発化する農業系コワーキングスペースの整備と運営	(株)せとうちのずかん

かがわ発！先進的ビジネスモデル2019

- ・応募総数3件
- ・賞状と盾・記念品の授与

	ビジネスモデル	事業者
大賞	小麦と大麦の未知の“機能性”と“美味しさ”を融合してヘルスケア食分野を開拓する	吉原食糧(株)
優秀賞	国産米を使用したアレルギー対応菓子製造	(株)禾
優秀賞	オリジナルブランド展開による国内製造改革の実現	(株)ダイコープロダクト

(3) 情報化基盤整備促進事業

地元中小企業の情報化に向けた取り組みを支援するため、情報化に関する相談事業を実施した。

内 容	回 数 等
情報化相談事業	43件

(4) 講習会開催事業

香川の産業高度化を支援するための人材育成事業として、新入社員研修を実施した。

講 習 会 名	開 催 日	参加人数
新入社員研修	平成31年4月2日～3日	73名
若手社員フォローアップ研修	令和2年2月5日～6日	20名

13. 中小企業後継者育成事業

1,046千円

中小企業後継者育成のため、次の事業に対して助成等を行った。

区 分	件数等	金 額
中小企業大学校派遣研修事業	16名	570千円

14. 設備資金貸付債権管理事業

128千円

過年度貸付の回収業務及び事後助言業務等を行った。

15. 国助成設備貸与債権管理事業

25,275千円

過年度貸与（割賦販売及びリース）の回収業務等を行った。

産業技術の高度化及び科学技術の振興のための支援事業

1. 高度技術開発振興事業

10,725千円

(1) 研修会等開催支援事業

県内産業の技術の高度化を図るため、学術研究支援や人材・能力育成支援を実施した。

区 分	開催回数	参加者数
学術研究会の開催支援	4回	533名
第27回かがわけん科学体験フェスティバル (主催：かがわけん科学体験フェスティバル実行委員会等)	1回	4,100名

(2) 商品化技術テーマ調査事業

大学・高専・公設試等が保有する技術資源を活用して新たな商品開発を行おうとする県内企業等に対し、商品化・事業化の可能性についての調査研究に要する経費を助成した。

令和元年度採択分【新規4件、助成額3,696千円】

事業者	テーマ	学術研究機関
大豊産業株式会社	死亡鶏巡回監視システム構築に向けた走行ロボット誘導システムの研究	香川大学 創造工学部
大誠水産	漁港静穏域を活用した燧灘特産の貝類養殖技術と事業展開の最適化に関する調査研究	香川県水産試験場
ケイ・タス株式会社	補装具耐用年数情報管理システムの研究開発	広島国際大学 リハビリテーション支援 学科
モーリス	「布団内快適環境を測定する装置の開発」と、布団内快適環境を整える装置の試作品作りに向けた「布団内快適環境調査・研究」	香川高等専門学校 (詫間キャンパス) 電子システム工学科

(平成30年度採択分3件、2,766千円)

(3) 芦原研究支援事業

本県出身の故芦原義重氏（関西電力㈱名誉会長、香川県名誉県民）からの寄附金による基金を活用して創設した芦原科学賞により、県内産業の技術の高度化及び産業振興に寄与するため、自然科学系分野において優秀な研究成果をあげた研究グループや個人の顕彰（大賞、功労賞）並びに優秀な成果をあげることが期待できる研究グループや個人の顕彰（奨励賞）を行った。

区 分		内 容 等
第 2 7 回 芦 原 科 学 賞	大賞 (賞状・楯・賞 金 2 0 0 万円)	受賞者：大倉工業(株) 山下 英之 氏、銭瓶 昌明 氏、植松 章人 氏 テーマ： ガスパック包装に利用するバリアシュリンクフ ィルムの開発
	功労賞 (賞状・楯・賞 金 1 0 0 万円)	受賞者：東洋炭素(株) C C 素材製造部 町野 洋 氏、尾藤 信吾 氏、富田 修平 氏 テーマ：工業炉用途炭素繊維強化炭素複合材料の製品開発 とそれによる事業拡大
	奨励賞 (賞状・楯・賞 金 5 0 万円)	受賞者：(有)日本健康科学研究センター 岩倉 泰一郎 氏 テーマ：皮膚上に耐水性被膜(フィルム)を形成する外用 製剤の研究開発

(4) 地域技術事業化推進事業

次世代自動車関連技術開発研究会

県内中小企業が、技術革新の進展に即応した技術を製品の開発や生産等に活用して事業化を図る取り組みを支援するため、今後の有望分野である次世代自動車分野に関する情報交換・情報発信や関連技術の習得、人材育成に資する事業として、研究会の運営を実施した。

区 分	内 容 等
第 1 3 回 次世代自動車関連 技術開発研究会	- 開催日時：令和 2 年 1 月 1 7 日 1 3 時 5 0 分～1 6 時 - 開催場所：香川産業頭脳化センタービル 2 階一般研修室 - 基調講演 『自動車の自動運転への取り組み』 国立大学法人群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター 副センター長 小木津 武樹 氏 - 参加者数 4 3 名

香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携

香川大学大学院地域マネジメント研究科(M B A)と連携して、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による授業科目「地域の中小企業と経済活性化」を地域マネジメント研究科における提供講座として開設した。

名 称	内 容 等
提供講座 「地域の中小企業 と経済活性化」	- 開催日時 令和元年 1 0 月 1 日～令和 2 年 1 月 2 8 日 1 8 時 2 0 分～1 9 時 5 0 分(毎週火曜日、全 1 5 回) - 開催場所 香川大学又信記念館 - 開催内容 提供講座の開設(中小企業経営者等による 1 5 講座) - 参加者数 学生、一般聴講者等合わせ延べ 4 3 5 名が参加

2. 債務保証債権管理事業等

0千円

(1) 債務保証

研究開発型企業が新技術・新製品の開発及び事業化を行うに際し必要とする資金の円滑な借入を支援するため、無担保の債務保証を行う事業であり、平成28年度までの債務保証事業において代位弁済を執行した案件で、求償権を有する案件2件の継続管理を行った。

3. 科学技術振興事業（国補）

31,783千円

(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業

我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（バイオ、情報処理、精密加工、機械制御等12分野）の高度化に貢献できる研究開発について事業化に向けた取り組みを支援する「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」を推進した。

財団は事業管理機関として、平成30年度採択事業1件について、経済産業省から補助金を受けて事業を進めた。

○平成30年度採択事業（研究開発2年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
高耐疲労高強度全天候型絶縁ロープの製造・点検技術の開発	平成30年8月～ 令和3年3月	高木綱業(株) 香川県産業技術 センター	29.9百万円 (令和元年度分)

4. 地域共同研究開発事業（県補他）

78,827千円

地域企業と連携して、開発可能性調査研究型プロジェクト、受託研究、技術指導実験、県内産業育成支援のための調査研究、RIST保有研究設備・機器の一般開放を実施し、事業化・商品化支援を行うとともに、企業訪問による技術指導、技術講演会の開催、研究施設一般公開等を実施した。

また、食品産業への支援として「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」によるシンポジウムの開催や工場施設見学及び新機能性表示食品開発相談センターによる機能性表示食品制度に関する相談・指導を実施した。

(1) 研究開発事業

企業支援研究事業

食の安全・安心、環境保全、CNF、電池電極など社会的課題・ニーズを踏まえたテーマを中心に、共同開発研究、開発可能性調査研究、受託研究、技術指導実験を推進した。

区分	令和元年度実施件数
共同開発研究	1件 (県産業技術センターとの共同研究)
開発可能性調査研究 (FS研究)	2件 (県内1企業、県外1企業)

受 託 研 究	1 件 (県内 1 企業)
技術指導実験	1 7 件

調査研究事業

県内産業育成支援のため、R I S T かがわ保有技術を活用した調査研究を実施した。

事業名	内容・結果
超臨界流体技術応用研究	超臨界流体を応用した疎水化 C N F 開発及び事業化研究について、C N F 疎水化反応の基礎実験を行った。
マイクロ波技術応用研究 (マイクロ波技術による 冷凍食品均一加熱研究)	冷凍調理食品の課題である加熱ムラ・冷凍ヤケ抑制対策について、冷凍炒飯等を対象に検討した。
マイクロ波技術応用研究 (オリーブ圧搾滓のマイ クロ波加熱法による有効 成分抽出研究)	機能性成分を多く含むオリーブ圧搾滓の有効利用について、マイクロ波加熱法による高効率な抽出技術を検討した。

産業財産権

令和元年度は特許審査請求を 1 件実施するとともに実施見込みのない 5 件の特許を放棄し、登録特許は 7 件となった。

これまでの特許出願等の状況は次のとおりである。

出願件数	特許登録数	権利放棄数	登録特許保有数(-)
1 0 3 件 (0)	3 7 件 (0)	3 0 件 (5)	7 件

() 内は令和元年度の件数

(2) 機能性食品開発支援事業

かがわ機能性食品等開発研究会による支援

かがわ機能性食品等開発研究会の事業として情報交換・施設見学会及びシンポジウムを開催し、機能性食品等に係る県内企業の研究開発や商品開発の取り組みを支援した。

区分	内容等
第 6 回情報交換・施設 見学会 (県外工場見学会)	○開催日時：令和元年 9 月 1 2 日 ○見学先：丸善製薬(株)総合研究所(広島県福山市) アサヒグループ食品(株)岡山工場(岡山県里庄町) ○参加者数：2 2 名 - かがわ冷凍食品研究フォーラムと合同で実施
第 7 回シンポジウム	○開催日時：令和元年 6 月 2 0 日 1 3 時 3 0 分 ~ 1 6 時 2 0 分 ○開催場所：レクザムホール(香川県県民ホール)大会議室 ○講演 「食品ペプチドの機能」 京都大学大学院農学研究科 教授 佐藤 健司 氏 ○事例発表 「機能性表示食品“ぷちぷち食感蒸し大麦”の取り組み」 (株)山清 代表取締役社長 松下 時夫 氏 「睡眠改善サプリ“ぐっすり GABA”の紹介」 富士産業(株)研究開発センター 研究員 三木 俊二 氏 「香川県産食材を用いた機能性表示食品の届出について」 (公財)かがわ産業支援財団 事業化支援アドバイザー 関谷 敬三 ○参加者数：8 9 名

機能性表示食品届出支援

平成27年6月に設置した新機能性表示食品開発相談センターでは、消費者庁への機能性表示食品届出について、届出書類作成等支援業務を5社6件受託するとともに、機能性表示食品開発・届出に関する相談業務（令和元年度相談件数：91件）を行った。

また、令和元年度に届出支援した機能性表示食品について、新たに7商品（6企業）が消費者庁に受理された。これにより、相談センターが支援した県内企業の機能性表示食品は10商品となった。

（3）冷凍食品産業支援事業

かがわ冷凍食品研究フォーラムの事業として、シンポジウム及び工場見学会を開催し、県内の冷凍食品を製造する企業等の研究開発や商品開発の取り組みを支援した。

区分	内容等
第5回情報交換・施設見学会 （県外工場見学会）	○開催日時：令和元年9月12日 ○見学先：丸善製薬㈱総合研究所（広島県福山市） アサヒグループ食品㈱岡山工場（岡山県里庄町） ○参加者数：22名 かがわ機能性食品等開発研究会と合同で実施（再掲）
第7回シンポジウム	○開催日時：令和元年11月7日13時30分～16時30分 ○開催場所：高松国際ホテル ○講演 「冷凍食品業界の最新の動向」 （一社）日本冷凍食品協会 専務理事 木村 均 氏 ○事例発表 「伊吹島カタクチイワシを使った冷凍“釜揚げいりこ”」 ㈱キョーワ 代表取締役 加地 正人 氏 「“やわらか食”商品化の“Kiseki”」 ㈱エフアールフーズ丸亀工場開発部長 造田 浩史 氏 「本県における野菜産地の現状と加工・業務用野菜の生産拡大に向けた取り組みについて」 香川県生産流通課野菜G 課長補佐 西田 剛 氏 ○参加者数：52名

（4）商品化・事業化促進事業

研究開発・技術開発終了後、実用化の段階にある企業に対して、研究者による技術移転とともに、食品加工の専門家によるサポートを実施した。

（5）研究設備・機器の一般開放

高温高圧流体技術やマイクロ波技術に関する装置、物性測定装置及び分析装置などの研究機器を企業等に開放した。（令和元年度利用件数：93件）

また、RIST保有研究機器等の一層の利用促進を図るため、最新型的高速液体クロマトグラフ（ELSD）を使って体験型機器利用講習会を実施した。（受講者：7名）

（6）一般公開、技術講演会の開催

RISTかがわの活動等について県民の方々に知っていただくため、小学生親子を対象に（一社）香川県発明協会と共同開催で「科学と発明」おもしろ体験学習を実施した。

また、RISTかがわの保有技術の普及を図るため、県内企業等を対象に技術講演会を開催した。

区分	内容等
「科学と発明」おもしろ体験学習	○開催日時：令和元年8月18日 10時～15時30分 ○内容 - 小学生親子を対象に、下記の体験講座を実施した。 <かがく実験教室> - 電子レンジでガラス細工 - 講師：朝日 信吉主席研究員 補助員：2名（香大農学部学生） - いろいろな顕微鏡でのぞく世界 - 講師：中西 勉主席研究員 補助員：2名（香大農学部学生） <発明工作教室> 「万華鏡の不思議な世界」 - 講師：ELF 丸亀 副理事長 丹下 善弘 先生 ○参加者数：親子74名
令和元年度技術講演会 マイクロ波技術の食品等への利用に関する講演会	○開催日時：令和2年2月21日 13時30分～16時10分 ○開催場所：香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室 ○基調講演 「バイオ技術へのマイクロ波加熱の利用」 - 九州工業大学大学院情報工学研究院 准教授 大内 将吉 氏 ○取組事例紹介 「濃縮、蒸留へのマイクロ波加熱の応用」 - 高知県工業技術センター 主任研究員 村井 正徳 氏 「マイクロ波熟成加熱装置 Aging Booster について」 - 四国計測工業(株) 主席研究員 國井 勝之 氏 ○参加者数：36名

5. 先端技術成果実用化支援事業（県補）

975千円

産学官連携で取り組んできた糖質バイオの研究・開発の成果を、引き続き地元企業に普及させるため、県の補助を受け、企業や研究者との情報交換等を図るほか、産学官の関係者が連携による広域的な人的ネットワークを形成するために、かがわ糖質バイオフォーラムを運営した。また、希少糖関連事業の円滑な推進を図るために総合的な調整等を行う「香川県希少糖戦略会議」の「生産・健康・医療部会」の運営に関与し調整を図った。

区 分	内 容
かがわ糖質バイオフォーラムの運営	かがわ糖質バイオフォーラムシンポジウム及び研究会を開催し、研究開発の進捗状況を発表するほか、産学官の研究者の積極的な意見交換を行うことで、企業と大学研究者などとの人的ネットワークの形成・拡大を図った。
「生産・健康・医療部会」の調整	希少糖のPR、希少糖関連商品の販売、希少糖の生産、香川大学での研究拠点化について情報交換、調整等を行うことにより、希少糖関連プロジェクトの推進を図った。

○かがわ糖質バイオフォーラム第12回シンポジウムの開催

開催日時：令和2年1月29日 13時～16時30分

開催場所：かがわ国際会議場

参加者数：78名

開催内容：

第1部 研究開発成果発表

「あまくておいしい機能性表示食品 希少糖含有シロップ」

松谷化学工業株式会社 研究所第一部2グループ 山田 貴子 氏

「天然型単糖メチルーＬ－ソルボシドの機能性と
ヒトの健康増進の可能性について」

株式会社伏見製薬所 港町事業所 糖質・バイオ研究部機能性糖質グループ
竹下 圭 氏

第２部 商品開発取組状況発表

ハイスキー食品工業株式会社 代表取締役社長 菱谷 龍二 氏
株式会社ルーヴ 代表取締役社長 野崎 幸三 氏

第３部 座談会

座長：かがわ糖質バイオフォーラム副会長・香川大学副学長
徳田 雅明 氏

座談会参加者：第１部、第２部発表者

○希少糖戦略会議 生産・健康・医療部会

<部会での協議事項>

「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクト

大学等での研究状況、海外での研究状況

レア－シュガースウィート（ＲＳＳ）の国内市場状況及びアルロースの国内外展開

アルロースの特定保健用食品認可に向けての状況と機能性表示食品制度

希少糖（アルロース、ＲＳＳ等）の広報状況、普及等

<令和元年度開催実績> いずれも非公開。

・第１９回 令和元年 ７月１７日

・第２０回 令和元年 １１月 ６日

・第２１回 令和２年 ３月１８日

６．健康関連製品開発事業（県補）

４，１４５千円

県内１５の産学官機関が策定し、国の地域イノベーション戦略支援地域の選定を受けた「かがわ健康関連製品開発地域構想」を推進するため、県補助金を活用して、医療機器や福祉機器等の製品開発・事業化の促進に努めることで、健康関連産業の創出を図った。

（１）地域企業の健康関連製品開発分野への新規参入等支援

医療機器メーカーとのマッチング

ものづくり企業が新たに医療機器分野に参入しようとする場合、医療機器の市場動向の状況把握や法規制への対応に関するノウハウを持つ「医療機器製販企業」などと連携することが有効であることから、東京都文京区本郷地区の医療機器メーカー等への県内ものづくり企業の紹介を行うとともに、全国規模の医療・福祉分野の総合展示会である HOSPEX Japan 2019 を活用したマッチング支援を行った。

区 分	内 容 等
HOSPEX Japan 2019 出展 (日本医療福祉設備学会併設展示会)	会 期：令和元年 11 月 20 日～22 日 開催場所：東京ビッグサイト 主 催：(一社)日本医療福祉設備協会、(一社)日本能率協会 出展企業・団体数：273 来場登録者数：14,846 名 香川県ブース出展企業：5 社(パンフレット出展 4 社) ■ ブース来場者数等 ブース来場者数：696 名、名刺交換数 167 枚、商談件数：75 件、 試作依頼件数：8 件、継続協議件数：63 件

薬事マネジメント相談会の開催

薬機法や医療機器の開発などに幅広い知識と豊富な経験を有する、NPO医工連携推進機構 客員研究員 吉川典子氏に薬事マネジメント相談員を委嘱し、薬事マネジメント相談会を開催した。

区 分	内 容 等
第 1 回	開催日時：令和元年7月19日 13時～17時10分 開催場所：FROM香川2階第3コーディネート室 相 談 員：薬事マネジメント相談員 吉川典子氏 開催内容：円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する無料個別相談会 参加者数：県内中小企業4社
第 2 回	開催日時：令和元年12月13日 13時～17時 開催場所：FROM香川2階第3コーディネート室 相 談 員：薬事マネジメント相談員 吉川典子氏 開催内容：円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する無料個別相談会 参加者数：県内中小企業4社

(2) フォーラム活動への参画

かがわ健康関連製品開発フォーラム及び微細構造デバイス研究開発フォーラムの運営に参画し、セミナー等を実施することにより地域企業に対して各種情報提供を行うとともに、人的なネットワークの構築、産学官の連携による新事業、新産業の創出に努めた。

かがわ健康関連製品開発フォーラム

設 立：平成24年7月1日、平成25年9月1日「ICT ビジネス部会」を設置

会 長：香川大学客員教授 山本知生 氏

会員数：法人会員88、個人会員40、賛助会員10 計138

(うち ICT ビジネス部会会員29)

微細構造デバイス研究開発フォーラム

設 立：平成17年4月1日

会 長：放送大学香川学習センター所長 大平 文和 氏

会員数：法人会員19、個人会員12、賛助会員4 計35

区 分	内 容 等
微細構造デバイス研究開発フォーラム令和元年度セミナー	開催日時：令和元年11月28日 13時30分～16時40分 開催場所：香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室 開催内容： 講演1 クラウドとエッジ、コンピューティングプラットフォームの展望 東洋大学情報連携学部教授 清水 徹 氏 講演2 人とシステムが連携した「バーチャル警備システム」～セキュリティサービスにおける技術活用の最前線～ セコム株式会社企画部担当部長 長谷川 精也 氏 講演3 AIとセンサが拓くアグリノベーション オムロン株式会社アグリオートメーション事業推進室 技術開発グループ長 佐々木 昌 氏 参加者数：71名

下請中小企業の振興のための事業

1. 下請企業振興対策事業（県補）

21,174千円

取引情報収集提供事業	下請取引のあっせん ・受発注取引を希望する登録企業の取引あっせんを行った。	431件
	取引情報の収集提供 ・専門調査員等が登録企業を訪問し、受発注情報や企業情報等の収集・提供を行った。	456件
	共同受注推進会議の開催 共同受注の推進のための講習会等を開催した。 ・令和元年5月24日 対象：香川県縫製品工業協同組合 場所：オークラホテル丸亀（丸亀市） 演題：「絶対わかる！公的年金 掛け方・もらい方 年金の未来像が見える」 講師：社会保険労務士 佐藤 秀樹 氏 （組合員13名参加） ・令和元年6月19日 対象：異業種共同受注グループ「福友会」 場所：レンブラントホテル大分（大分県大分市） 内容：大分県異業種連携企業会「豊信会」との意見交換会（会員9名参加）	2回
	広域商談会の開催 四国4県合同で広域商談会を開催した。 ・「四国ビジネスマッチング2019（合同広域商談会）」 日 時：令和元年11月6日 11時～17時 場 所：リーガロイヤルホテル新居浜（新居浜市） 参加者：発注企業 66社 受注企業175社（香川県49社、徳島県26社、愛媛県68社、高知県32社） 近畿・四国合同で広域商談会を開催した。 ・「モノづくり受発注広域商談会」 日 時：令和元年9月26日 10時～17時 場 所：マイドームおおさか（大阪市） 参加者：県内受注企業15社 ・「近畿・四国合同広域商談会」 日 時：令和2年2月13日～14日 10時30分～16時40分 場 所：京都パルスプラザ（京都市） 参加者：県内受注企業12社 個別商談会の開催 コアテック㈱（岡山県総社市） 日 時：令和元年5月7日・6月7日 参加者：県内受注企業5社 河淳㈱（東京都） 日 時：令和元年7月9日 参加者：県内受注企業3社	3回

	鎌長製衡(株) (高松市) 日 時：令和元年 7 月 23 日 参加者：県内受注企業 4 社 有力な展示商談会への共同出展支援 「第 24 回機械要素技術展」(幕張メッセ)に出展し、県内のものづくり系企業を対象に香川県ブースとして集団展示を行った。 令和 2 年 2 月 26 日～28 日 出展企業 9 社 四国企業販路開拓マッチングプロジェクト 「第 22 回関西機械要素技術展」(インテックス大阪)に、県内のものづくり系企業を対象に香川県ブースを出展し、四国企業販路開拓マッチングプロジェクトとして P R を行った。 令和元年 10 月 2 日～4 日 出展企業 8 社 水素関連見本市出展支援 「第 6 回関西二次電池展 (BATTERY OSAKA2019)」(インテックス大阪)に出展し、県内のエネルギー関連分野企業を対象に香川県ブースとして集団展示を行った。 令和元年 9 月 25 日～27 日 出展企業 4 社	1 回 1 回 1 回
下請かけこみ寺事業	(公財)全国中小企業振興機関協会の実施する「下請かけこみ寺事業」の地域拠点として、下請取引に関する様々な相談に対応した。(弁護士無料相談含む)	69 件

創業支援、ベンチャー企業育成、産業の高度化、産学官共同研究の推進等のための施設の管理・運営事業

1. 頭脳化センター施設提供事業 (県補他)

139,137 千円

香川産業頭脳化センタービルの貸室は、創業しようとする者や創業間もない者が入居できる「インキュベートルーム」及び地域産業の高度化に寄与すると認められる企業等が入居できる「リサーチルーム」からなっており、その入居については「香川産業頭脳化センタービル入居者選考委員会」において審議するなど、適切な運営に努めた。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
インキュベートルーム	37 室	7 室
リサーチルーム		28 室

入居者によって「インキュベートルーム」、「リサーチルーム」の区分が変わる。

2. IT 関連インキュベート施設管理運営事業 (県補)

5,358 千円

IT を活用し新事業に取り組む起業家(ネットベンチャー)等を支援するため、高速通信回線が整備された部屋を低料金で利用できるインキュベート施設「IT スクエア」を香川県の補助を受けて運営した。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
ＩＴスクエア	１１室	８室

３．県有施設管理運営事業（県委）

８４，７２５千円

地域企業の技術の高度化や新分野進出を支援するためのインキュベート工房や電波暗室を設けた県有施設の「香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川）」及び先端技術産業分野の研究開発を産学官で行うための拠点施設「香川県科学技術研究センター（FROM香川）」について、県より指定管理者の指定を受け、平成２８年度から５年間、管理運営を行う。

（１）ネクスト香川及びFROM香川入居条件等

区 分	インキュベート工房 （ネクスト香川）	研 究 室 等 （FROM香川）
入 居 者	・創業又は新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者であって、その利用を開始する時点において、次のいずれかに該当する者 - 新たに事業を営もうとする者 - 新たに事業を営んだ日以後５年を経過していない者 - 事業の多角化、事業の転換等により新たな事業の分野へ進出しようとする者 - 産業振興に資するものと知事が認める者	・産学官共同研究を行うグループで、産学官を２以上含み、うち１以上が県内で主たる研究開発を行うもの ・産学官共同研究のうち、基礎研究の成果を実用化に結びつけるための研究開発を行う企業 ・産学官連携推進事業を行う法人
規 模	大型５室 小型６室	メカトロ研究室１室 バイオ研究室１室 一般研究室５室（各室３分割可能） 産学官連携推進室
入居状況	大型３室 小型４室	メカトロ研究室 バイオ研究室 一般研究室１５室、１０グループ 産学官連携推進室
利用料金	入居から５年まで 月額１，５６０円／㎡ 入居から５年経過後 月額１，８７０円／㎡	・産学官共同研究グループ 無料 ・実用化研究企業 月額２，６１０円／㎡ （月額１，５６０円／㎡に減額される場合あり） ・産学官連携推進事業を行う法人 無料
入居期間	３年間（最長５年まで延長が可能） ただし知事が別に定める事業の分野に属する場合等は、最長１０年又は１２年まで延長可能。 （特定事業分野：地域資源や伝統技術を活用した特長のある食品・バイオ関連分野、健康関連分野、先端技術や基盤技術を活用したものづくり分野、エネルギー・環境関連分野）	３年間（最長５年まで延長が可能） ただし一定の要件に該当する場合は最長１０年まで延長可能。

○ネクスト香川インキュベート工房入居状況（１１室中７室入居）

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
１０１	(株)かもめや	無人輸送システム、機器の研究開発	平成２９年 ７月１日
２０２	(株)未来機械	窓清掃ロボット及びメカトロニクス製品の研究開発、製造・販売	平成２０年 １０月１日
２０４	(株)総合開発	土壌・水質浄化技術の研究開発	平成２９年 ７月１日
２０５	Soillook	ドローンと赤外線カメラを使ったインフラ点検機器等の開発	令和２年 １月１日
３０１	自然免疫制御技術研究組合	動物実験による健康食品産業の支援	平成２９年 ２月１日
３０３	メロディ・インターナショナル(株)	K-MIXと連携する胎児心拍計、遠隔医療システム、健康生活アプリの開発	平成２７年 ９月１日
３０４			

○FROM香川一般研究室等入居状況（１７室中１７室入居）

研究室名	研究グループ名 (研究代表/使用責任者)	研究テーマ	入居研究機関	入居年月日
メカトロ 研究室	マイクロ加工研究 グループ (香川大学 高尾英邦/ 寺尾京平)	異分野融合型 産業にむけた マイクロ・ナノ デバイスの研 究	香川大学創造工学部、 医学部、農学部 京都大学 静岡大学 岡山県立大学 香川高等専門学校 徳島大学 大阪府立大学 アオイ電子(株) (株)レクザム 四国総合研究所 ユニチャーム(株) プロテノバ(株) (有)ファイトロニクス 高松帝酸(株) 産業技術総合研究所	平成３０年 １０月１日
バイオ 研究室	アルツハイマー病予 防LPS開発グループ (自然免疫制御技術研 究組合 杉源一郎/ 稲川裕之)	アルツハイマ ー病等の予防・ 治療に向けた LPS 創薬の基 盤構築と高 LPS 農産物栽 培技術の開発	自然免疫制御技術研 究組合、香川大学農学 部、長野県立大学、九 州大学大学院、北海道 科学大学、鹿児島大学 (特活)環瀬戸内自然 免疫ネットワーク 自然免疫応用技研(株) 東洋ライス(株) 小豆島食材開発会議	平成３０年 ８月１日

一般研究室 (1 a)	酵素反応阻害剤研究グループ (香川大学 中北慎一 / 木下崇司)	糖鎖加工酵素の反応阻害剤の研究開発	香川大学総合生命科学研究センター 九州大学 徳島大学 (株)伏見製薬所	平成30年 9月1日
一般研究室 (1 b)				
一般研究室 (1 c)	IoT 機器開発共同研究グループ(株)未来機械 三宅徹/浦治男)	非接触三次元測定センサを核とした生産設備のIoT化システム等の研究開発	香川大学創造工学部 (株)未来機械	平成27年 7月1日
一般研究室 (2 a)	オリーブ生産へのAI導入共同研究グループ ((一社)美味しさの科学研究所 山野善正 / 同上)	センシング及びAIによる高品質な香川県産オリーブの生産管理システムの開発	(一社)おいしさの科学研究所 香川大学農学部 (株)日進機械 瀬戸内オリーブ(株)	平成31年 4月1日
一般研究室 (2 b)				
一般研究室 (2 c)	脳梗塞予防ネットワークシステム企画開発グループ (香川大学 原量宏 / 同上)	心房細動 (A F)スクリーニングシステムの研究開発	香川大学瀬戸内圏研究センター 香川大学医学部 香川大学医学部附属病院 NPO 法人 e-HCIK メロディ・インターナショナル(株)	令和元年 9月1日
一般研究室 (3 a)	複合糖質研究開発グループ (香川大学 中北慎一 / (株)伏見製薬所 木下崇司)	複合糖質の研究開発	香川大学総合生命科学研究センター (株)伏見製薬所	平成30年 3月1日
一般研究室 (3 b)				
一般研究室 (3 c)				
一般研究室 (4 a)	先進シミュレータ共同研究グループ (三咲デザイン合同会社 田島淳 / 香川大学創造工学部鈴木桂輔)	教育・研究用途の先進シミュレータの研究開発	三咲デザイン合同会社 香川大学創造工学部	平成30年 4月1日
一般研究室 (4 b)	自律型検査・メンテロボット共同研究グループ (株)未来機械 三宅徹 / 同上)	2次元最適施肥量算出を目指したリアルタイム自動検査ロボットの研究開発	香川大学創造工学部 香川大学医学部 (株)未来機械	平成31年 4月1日
一般研究室 (4 c)				

一般研究室 (5a)	海洋細菌多糖と植物乳酸菌の機能開発共同研究グループ (香川大学 岡崎勝一郎 / (株)ハマダフードシステム 蓮井昌彦)	海洋細菌多糖と植物乳酸菌の機能開発	香川大学農学部 (株)ハマダフードシステム (株)ピカソ美化学研究所 富士産業(株)	平成28年 4月1日
一般研究室 (5b)	腸内フローラ研究グループ (オーブ(株) 鈴木啓太 / 香川大学 桑原知巳)	腸内細菌叢の網羅的解析及び生体影響及びアスリートの腸内細菌叢の特徴と機能の解明に関する研究	香川大学医学部 オーブ(株)	平成29年 4月1日
一般研究室 (5c)	バキュロ発現系生産限界技術共同研究グループ (株)バキュロテクノロジーズ馬嶋景 / 同左)	バキュロウィルス発現系の生産限界技術開発	(株)バキュロテクノロジーズ 山口大学農学部 (有)生産資源研究所 日本大学医学部	平成28年 4月1日

(2) FROM香川共同機器室及びバイオ関連共同実験室

利用状況

- ・共同機器室： 4件
- ・バイオ関連共同実験室： 3件

機器利用講習会の開催

- ・開催回数：3回
- ・参加人数：延27名

月 日	機器名	参加人数
12月 3日	フーリエ変換赤外分光光度計	9
12月10日	走査型プローブ顕微鏡	8
12月17日	分光光度計	10
	合 計	27

(3) ネクスト香川EMC総合試験施設管理運営

EMC総合試験施設使用状況 稼働率 99.5%

区 分	利用企業数	利用時間(実日数)	
		大型電波暗室	小型電波暗室
県内企業	9社	271時間(34日)	731時間(103日)
県外企業	21社	1,318時間(165日)	837時間(109日)
合 計	30社	1,589時間(199日)	1,568時間(212日)

(4) かがわ E M C 技術研究会事業

区 分	内 容 等
E M C 研究会	○開催日時 令和元年 6 月 2 0 日 1 3 時 ~ 1 7 時 ○会 場 香川産業頭脳化センタービル 2 階一般研修室 ○テーマ等 ・総会 ・講演「電気回路理論と E M I 」 岡山大学名誉教授 古賀隆治 氏 (かがわ EMC 技術研究会会長) ・講演「プリント回路基板からの不要電磁波放射のメカニズムと抑制手法」 岡山大学大学院自然科学研究科教授 豊田啓孝 氏 ○参加者数 (会員他) 5 4 名
E M C 講演会	○開催日時 令和元年 1 1 月 1 9 日 1 3 時 3 0 分 ~ 1 7 時 ○会 場 香川産業頭脳化センタービル 2 階一般研修室 ○テーマ等 ・講演「電磁エネルギーの伝搬」 岡山大学名誉教授 古賀隆治 氏 (かがわ EMC 技術研究会会長) ・講演「ノイズフィルタの効果的な使用方法について」 T D K ラムダ (株) 技術統括部 E M C 技術部 高木芳徳 氏 ・講演「ノイズトラブルの実態とその対策手法について」 (株) 電研精機研究所 ノイズトラブル相談室 大阿久 学氏 ○参加者数 7 3 名

新かがわ中小企業応援基金等を活用した新産業の創出、地域産業の革新等のための支援事業

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

1 5 5 , 4 5 7 千円

(独) 中小企業基盤整備機構、香川県、金融機関及び当財団が資金を拠出した総額 1 1 8 . 5 億円の「新かがわ中小企業応援ファンド」などを利用して、中小企業者等に助成を行うことなどにより、先端技術産業や地場産業の新たな取り組みなどを支援した。

1 . 助成事業の状況

(1) 令和元年度助成事業の募集期間

平成 3 0 年 1 1 月 1 9 日 ~ 平成 3 1 年 1 月 1 8 日

(2) 事業件数

継 続【 1 4 件 1 2 , 0 0 3 千円】

新規採択【 7 0 件 8 6 , 8 8 3 千円】

区 分	継続	令和元年度新規	
		申請件数	採択件数
新分野等チャレンジ支援事業	7 (うち廃止1件)	26	13
競争力強化研究開発支援事業	4	15	10
地場産業・地域資源活用支援事業	3	13	7
県外見本市出展支援事業	-	22	21 (うち廃止3件)
海外見本市出展支援事業	-	21	10 (うち廃止1件)
ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業	-	5	5
創業ベンチャー支援事業 (かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ枠1件含む)	-	12	4
合計	14	114	70

(3) 助成事業の詳細

新分野等チャレンジ支援事業

県内中小企業者が取り組む新分野進出のための商品・技術開発や、市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証実験などに対して支援を行った。

ア 継続 【7件、助成額 4,990千円】

テーマ	事業者
「段付き緩み止め締結ナット」の開発	サンコー(株)
大型ベルトコンベアのローラ内蔵軸受状態監視用センサーの開発	(株)三和テスコ
シジミエクス(ペプチド)の商品化	島乃香(株)
高機能性無機系凝集剤を活用した石材加工用濁水処理システムの開発	(株)総合開発
銀加工により消臭機能を付与した綿製品の開発	大同染工(株) 【廃止】
日本初モジュール組立型BMX・スケートボードパーク開発事業	(株)都村製作所
機能性スイーツの開発	(株)ルーヴ

イ 新規採択 【13件、助成額 6,201千円】

テーマ	事業者
多目的段差解消機兼入浴補助装置への安全装置考案及び異物侵入防止策への研究・開発	(株)ADSムラカミ
鋳物の生産支援システムの開発	有限会社香川メタルス
環境負荷の低い天然アルカリ洗剤の生産体制の構築事業	(株)小豆島クリーンサービス
香川県産はだか麦の麦稈ストローの商品開発	(株)高畑精麦
ガスを用いたCNF前処理技術の検討	高松帝酸(株)
オリーブうどんをベースにした機能性表示食品の開発	(株)めりけんや
耐熱シリコングローブに関するディッピング用原手の開発	ウインセス(株)
環境対応包材の開発	(株)北四国グラビア印刷
小豆島そうめん・讃岐うどんの新規商材の介護食・ベビーフードへの新規販路開拓事業	(株)吉太郎

健康的で安全性の高い豆乳ジェラートの開発	(有)久保食品
日本初！オリーブキクラゲの試作開発	(株)ＴＫエステート
顧客のニーズに遡及する家具キットブランド（「m3」）の構築	(株)マルトク
表面改質と凹凸形状による剥離ポリフィルムの開発	マルワ製袋(株)

競争力強化研究開発支援事業

独創的な研究開発や、特許権等を活用した付加価値の高い新製品・新技術の開発等に対して支援を行った。

ア 継続 【４件、助成額 ３，１８３千円】

テーマ	事業者
HS-PET の付加価値アップ、評価方法と生産性の確立を目的とする研究開発	日生化学(株)
フッ素ガス粉体処理装置開発及びフッ素ガス処理粉体用途開拓、市場提案	高松帝酸(株)
機能性単糖の大量生産システムの開発と機能性および安全性の評価	(株)伏見製薬所
ボルトジョイント型パラミックス工法（仮設棧橋工法）の開発	日本ジュウキケンセツ(株)

イ 新規採択 【１０件、助成額 ３９，８８６千円】

テーマ	事業者
交通事故を予防する為のお香開発と効果分析	(株)岩佐佛喜堂
麺の品質向上に伴う競争力強化	(株)久保田麺業
業界初！義肢装具企業様向けFree items（PO+）システムの研究開発	ケイ・タス(株)
省スペース型豆腐自動製造装置の開発	(株)タカハタ
オリーブセラミドの確立と化粧品への展開	東洋オリーブ(株)
住環境における現場型漏水検知・診断システムの開発	(株)日進機械
こんにゃく（マンナンミール）のドライ化技術の開発	ハイスキー食品工業(株)
海外仕様マイクロ波センサの開発	(株)パル技研
フィルム包装材製造工程の自動化による生産性・品質の向上	(株)F U J I D A N
生殖補助医療における業務効率と医療の質の向上を支援するソフトウェアシステム開発事業	(株)ミトラ

地場産業・地域資源活用支援事業

地場産品または県が指定した地域資源を活用した新製品の開発や販路開拓等に対して支援を行った。

ア 継続 【３件、助成額 ３，８３０千円】

テーマ	事業者
刺繍加工技術の高度化と販路開拓事業	(株)オーキッド
石材加工技術革新による庵治石の高付加価値化と新展開事業	(株)二宮石材
オリーブ豚の冷凍食品惣菜の開発・消費拡大を図るための販路開拓	丸剛産業(株)

イ 新規採択 【7件、助成額 15,948千円】

テーマ	事業者
東かがわの縫製技術を活用した自社ブランドの生産能力向上及び、販路開拓	アーバン工芸(株)
新規ライフスタイルニットブランドの創造及びインテリア・ライフスタイルアイテムの提案	(株)イチーナ
軽量・耐震・断熱・防露等の機能を有する施工方法の開発	(株)請川窯業
香川から世界へ！「発信力」という強みを活かしたカバン製造業の復活	(株)カワニシカバンブ ロダクト
高品質化粧品の開発	金両(株)
ブランド力強化のための新商品開発	(株)フクシン
「高付加価値」「専用麺」「即食」をキーワードにした商品開発による、讃岐うどんブランドの新しい魅力の創造。	(株)マルキン

国内販路開拓支援事業（県外見本市出展支援事業）

県内中小企業者等に対して、国内で開催される見本市への出展の支援を行った。

新規採択 【21件（うち廃止3件）助成額 5,230千円】

テーマ	事業者
第71回日本産科婦人科学会学術講演会	メロディ・インターナショナル(株)
第4回名古屋機械要素技術展	(株)コヤマ・システム
地方創生「食の魅力」発見商談会	(株)松浦唐立軒
ifia JAPAN2019 国際食品素材/添加物展	(株)瀬戸内オリーブ
地域食品ブランドフェア	(株)まんでがん
第5回エンディング産業展	くりや(株)
インテリアライフスタイル 2019	(株)ダイコープロダクト
ダイレクト・マーケティング・フェア2019	(株)ホーコーエン
J A S I S 2019	(株)ハガタ屋
第3回“日本の食品”輸出 EXPO	タケサン(株)
	(株)さぬきシセイ
アジア・ファニッシング・フェア 2019	(株)綾野製作所
沖縄大交易会 2019	鎌田商事(株)
健康博覧会 2020	柿茶本舗(有) 【廃止】
東京インターナショナル・ギフトショー春 2020	(株)日栄産業
第26回建築・建材展 2020	(株)川上板金工業所 【廃止】
第3回国際ベビー&キッズEXPO【春】	(株)禾
H C J 2020 国際ホテル・レストラン・ショー	(株)サトーサービス
C a r e T E X 2020（介護施設産業展）	日本メディカル(株)
キッズフェスタ 2019	旭洋鉄工(株) 【廃止】
第17回シーフードショー大阪	仁尾産商(株)

海外販路開拓支援事業（海外見本市出展支援事業）

県内中小企業者等に対して、海外で開催される見本市への出展の支援を行った。

新規採択 【10件（うち廃止1件）助成額 8,540千円】

テーマ	事業者
MEDICAL FAIR THAILAND（9月 タイ・バンコク）	メロディ・インターナショナル(株)
第十九届中国国際金型技術と設備展示会（6月 中国・上海）	(株)長峰製作所

EURO BIKE (9 月 ドイツ・フリースドルフ・ハーフェン)	(有)アイヴエーション
ANUGA (10 月 ドイツ・ケルン)	(株)久保田麵業
Food Japan 2019 (1 1 月 シンガポール)	石丸製麵(株)
WOGNA in 誠品生活 (1 0 月 台湾・台北市)	エールック(株)
MAISON & OBJET 2020.1 (1 月 フランス・パリ)	ウインセス(株)
OLIO Nuovo Days 2020 (1 月 フランス・パリ)	(株)高尾農園
Who's Next (フランス・パリ)	アーバン工芸(株) 【廃止】
The SPIE Photonics West 2020 Exhibition (2 月 アメリカ・サンフランシスコ)	(株)シーマイクロ

ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業

中小企業者等が製造現場におけるコスト削減等を目的に行う、専門コンサルタントを活用した製造現場の改善事業や、企業が実施する人材育成研修事業に対して支援を行った。

新規採択 【 5 件、助成額 6 , 3 2 7 千円】

テーマ	事業者
時代の激変に対応する為、内的要因と外的要因にチャレンジする生産性向上プログラム	一光電機(株)
ISO22716 取得に向けての生産性向上のための支援事業	大成薬品工業(株)
H A C C P に基づいたシステムを構築する中で、人材育成と、製造工程管理の改善と技術向上を図る事業	農協食品(株)
製造現場における高効率化生産体制の構築による生産性向上施策	(株)F U J I D A N
多品種少量生産に向けた生産現場改善と生産プロセス再構築	ラモナー(株)

創業ベンチャー支援事業

【創業ベンチャー】

新規創業者や創業間もない企業が行う、新規性、独創性のある事業等に対して支援を行った。

新規採択 【 3 件、助成額 2 , 7 7 0 千円】

テーマ	事業者
地域ブランドプロデュースし地場産業にイノベーションを興す「伊吹島プロジェクト」	加地 正人
熱履歴検査事業	三浦 大樹
小豆島産放牧豚及び香川県産讃岐オリーブ夢豚を原料とし、醤油麹菌で発酵させる長期熟成生ハムの製造販売	三好 昭浩

【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2018最優秀賞認定事業】

創造的な技術や商品、サービスなどを自ら新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを支援するために実施する「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ」最優秀賞受賞者の事業に対して支援を行った。

新規採択 【 1 件、助成額 1 , 9 8 1 千円】

テーマ	事業者
コンクリート構造物の塩害劣化検査サービス	西藤 翼

2. 産業支援機関事業（財団直営事業を含む。）の状況

高度産業人材育成事業

分野	実施講座数	受講者数（延べ）
I T 技術研修	11	196名
次世代ものづくり技術研修	4	42名

地域企業国内販路開拓支援事業

事業名	実績	件数等
発注開拓支援事業	大手企業出身者（経営支援NPOクラブ会員）の人脈及び経験を活用し、発注案件や情報収集の発掘を行った。 ・ものづくり企業支援件数 25件 ・コア技術系企業支援件数 33件 ・展示商談会候補企業発掘数 2件	60件
かがわものづくり新技術展示商談会開催事業	県内の企業や研究機関等が有する優れたものづくり技術・製品等をPRするため、県外大手メーカーに対して一堂に展示し、商談会を通じて本県企業の新規取引先の開拓と受注機会の拡大を図った。 【三菱電機㈱伊丹製作所展示商談会】 日 時：令和元年10月17日（木） 18日（金） （1日目）13時～17時 （2日目）10時～15時 場 所：三菱電機㈱伊丹製作所 新本館（F301） 1階 多目的ホール （兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1-1） 参加者数：県内企業31社・1機関 来場者数：236名 商談件数：625件	1回
食品・地場産品商談会開催事業	【食品商談会】 大都市圏等県外の食品関連バイヤー、及び県内の食品関連バイヤーを招聘し、県内食品事業者との商談会を開催。 ・日 時 令和元年9月10日 ・場 所 JR ホテルクレメント高松 ・招聘バイヤー 64社【百貨店、総合スーパー他】 ・参加企業 94社 ・商談件数 735件、商談成約見込215件 - 商談継続 440件 【地場産業商談会】 大都市圏等県外バイヤー及び県内バイヤーを招聘し、県内地場産品事業者との商談会を開催。 ・日時、場所 令和元年11月11日 栗林公園商工奨励館 令和元年11月12日 旧善通寺偕行社 ・招聘バイヤー 11社【百貨店、セレクトショップ他】 ・参加セラー 30社 ・商談件数 314件、商談成約見込18件 - 商談継続 50件	2回

食品見本市出展事業	【スーパーマーケット・トレードショー】 香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー2020」において、香川県ブース(28小間)を出展。 ・日 時 令和2年2月12日～14日 ・場 所 幕張メッセ全館 ・参加企業 52社 ・商談件数 5,085件 ・成約見込金額 102,141千円	1回
-----------	---	----

地域企業海外販路開拓支援事業

事業名	内 容	件 数 等
国際取引支援事業	国際取引支援アドバイザーを設置し、相談会の開催等により、県内企業の国際取引相談に対応するとともに、課題・ニーズの把握を行った。	国際取引支援アドバイザー2名設置 個別相談 45件 (メール相談5件含む)
「かがわ海外ビジネス支援総合サイト」の運営	財団HP内に開設している海外ビジネス専用サイトを活用し、各支援機関の海外ビジネス支援に関する情報を一元化して発信することにより、県内企業の海外展開の支援を行った。	主な内容 新着情報、財団事業、香川県上海ビジネス展開支援事業、海外ビジネス情報、中国NAVI 他

地域資源販路拡大支援事業

事業名	内 容	件数等
ビジネスマッチング創出支援事業	地域の認知度や地域活力向上を図るため、地域資源に特化した新たな販路拡大支援事業を創設することで、香川県の顔となる地域資源が全国的に認知され、販路拡大につながるよう中小企業者等を支援した。 【個別商談会】 地域資源を有する中小企業と大手企業との個別商談会を実施した。 (第1回) ・開催日時: 令和2年1月20日 同 年2月19日・20日 ・開催場所: 三菱電機(株)電力システム製作所(神戸市)及び県内企業(坂出市・丸亀市) ・参加者数: 県内企業3社 (第2回) ・開催日時: 令和2年2月17日 ・開催場所: (株)堀場製作所本社(京都市) ・参加者数: 県内企業4社 【東京インターナショナル・ギフト・ショー春2020第7回LIFE×DESIGN】 香川県の地域資源を活用した商品の魅力を発信することで、県内の中小企業者の販路拡大を支援するため、首都圏で開催される国際展示会への出展支援を行った。	3回

	・開催日時：令和２年２月５日～７日 ・開催場所：東京ビッグサイト 青海展示棟 ・参加者数：県内企業７社	
ブラッシュアップ支援事業	成約につながる販路開拓手法の仕組みづくりのための販路開拓支援セミナーを開催した。 【販路開拓支援セミナー】 ・開催日時：令和２年２月１７日 ・開催場所：香川産業頭脳化センタービル ２階一般研修室 ・開催内容：講演及びグループワーク 「顧客は展示会で見つけなさい」 (株)エスト・コミュニケーションズ 代表取締役 弓削 徹 氏	１回

新規発掘・事業化コーディネート事業

専任コーディネーター等を配置し、積極的な中小企業回りを通じて、新たなシーズの発掘や事業化の支援、事業終了後のフォローアップ、成果検証等を行った。

新商品発表会

新かがわ中小企業応援ファンド等事業及びかがわ農商工連携ファンド事業の事業成果を広く公開するため、新商品発表会を開催し、助成事業者による研究成果や事業展開などの発表に加え、成果品の展示等を行った。

かがわ農商工連携基金を活用した農商工連携推進のための事業

１．かがわ農商工連携ファンド事業

４１，６２５千円

（独）中小企業基盤整備機構、県及び金融機関等が資金を拠出した総額２８億円の「かがわ農商工連携基金」を活用して、農林漁業者と中小企業者が連携して取り組む新商品や新サービスの開発、販路開拓などを支援した。

（１）農商工連携事業（助成金事業）

新規採択 【４件、助成額６，１７１千円】

○新商品等開発支援事業

テーマ	連携体
香川県産魚を使ったレトルト及びスモーク練り製品の開発と販路開拓	(株)おがた食研 四海漁業協同組合

○販売力強化・ブランド化支援事業

テーマ	連携体
小豆島産の生姜を用いたジンジャーシロップ、ジンジャードレッシングの販路拡大とブランディング	(株)高橋商店 HOMEMAKERS
粉末桑茶『さぬきの桑茶』のブランド強化 PR 及び販売促進	(有)西森園 JA 香川県四国大川女性部 桑加工研究グループ

「らりるれロメインレタス」を使用した天ぷらのPRと販売力強化	福弥蒲鉾(株) (株)土緑家
--------------------------------	-------------------

継続 【18件、助成額24,193千円】

○新商品等開発支援事業

テーマ	連携体
野菜の粉末ともち玄米粉で作る麺と米糠ふりかけの商品開発・販路開拓	(株)デュエット ミカタ
烏骨鶏の卵を使用した高付加価値スイーツの開発と販路開拓	(株)エフディアイ (有)松本ファーム
オリーブ車海老を活用した豆菓子などの商品開発と販路開拓	(有) 筒井製菓 仁尾産商(株)
焼きたてのおいしさが再現できる新しいアルミ蒸着包装の焼き芋商品開発、および販路開拓	(株) ニッショー さんわ農夢(株)
高松市西部地域産の規格外果実を使用したゼリー等の商品開発と販路拡大	(株)スミダ・リ・オリジン 高松市西部地域果樹部会
有機栽培ベルガモットオレンジの冷凍果皮を使ったこだわりジェラートの周年生産と販路開拓	(有)オッティモ 末澤農園
高松盆栽普及のためのコンテンツ商品開発と販路開拓	(株)妙興 国分寺グリーンクラブ
香川県産オリーブオイルを使用したフェイスマスク化粧品の開発と販路開拓	大成薬品工業(株) 三豊オリーブ(株)
ヒトエグサ陸上養殖システムの確立と養殖ヒトエグサの商品開発・販路開拓	宝食品(株) 内海漁業協同組合
飯南の桃を利用したスイーツやドレッシング等加工品の開発と販路開拓	(株)かわよし 飯南地区桃生産販売部会
高齢者にやさしい農産物や惣菜等加工品の流通・販売方法の実証	かなたまキッチン こんちゃん農園
三豊産野菜を活用した“野菜塩(仮称)”の商品開発・販路開拓	cafe de flots まつむら農園
アスパラガス収穫作業用座椅子台車の製造と販路開拓	(有)グッドワーク 香川県農業協同組合
アスパラガスの未利用資源を有効活用したペーストとその加工品開発・販路開拓	ガイナファーム(株) 眞鍋牧場
オリーブ牛の低需要部位を活用した缶詰製品の新商品開発と販路開拓	讃岐罐詰(株) 香川県農業協同組合
香川の伝統野菜等の継承と販路拡大	高松青果(株) F-farm
ハチミツを主とした調味料の開発と販路開拓	(株)高橋商店 (株)ミネック

○販売力強化・ブランド化支援事業

テーマ	連携体
「さぬきキウイっこ」を使用したスイーツのPR及び販売力の強化	(株)スミダ・リ・オリジン (株)キウイベリージャパン

(2) 農商工連携支援事業

農商工連携を支援するために財団が実施する事業

新商品発表会、成果事例集の発刊、求評モニター会の開催、首都圏での試験販売、見本市出展支援（FABEX関西2019、スーパーマーケット・トレードショー、FOOD EX JAPAN 2020（準備））、農商工連携コーディネーターによる連携体に対する事業計画のブラッシュアップや商品化に向けたフォローアップを実施した。

○ FABEX 関西 2019

（一財）かがわ県産品振興機構大阪事業部、（一財）かがわ県産品振興機構、香川県農政水産部農政課、香川県農政水産部農業生産流通課、三豊市商工会及び香川県信用農業協同組合連合会と共同で香川県ブース（10小間）を出展。

- ・日 時 令和元年10月16日～18日
- ・場 所 インテックス大阪
- ・参加企業 22社

収益事業

1. 産業会館事務室提供事業

2,493千円

産業会館5階に所有するスペースを、公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会、一般財団法人消防試験研究センター香川県支部及び香川県中小企業団体中央会に対し、賃貸した。

その他の事業（相互扶助等事業）

1. 異業種交流事業

2,491千円

(1) かがわ産業振興クラブ運営事業

講演会や企業見学会を開催するとともに、機関誌、メルマガ等により産業情報の提供を行った。

事業内容	開催日	参加者数
講演会	令和 元年 7月25日	104名
知事との意見交換会	令和 元年11月 5日	54名
県外企業等見学会	令和 元年11月21日	36名

(2) 異業種交流等への支援

各種団体の事務局として当該団体の活動を支援した。

団体名	団体概要	活動内容
香川マルチメディアビジネスフォーラム （会員数33）	ITを活用した経営の向上や新たなビジネスの創出を図るとともに、会員企業の交流を促進し、本県産業の振興に寄与することを目的として設立された団体	○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 等

香川県デザイン協会 (会員数 89)	県内におけるデザイン振興の中核として、優れたデザインが生み出される環境づくりや、産業界等との連携による産業及び地域文化の発展を図るため、県内デザイナー等により設立された団体	○ デザイン展覧会 ○ 講演会 ○ 視察研修 ○ 総会、交流会 ○ 会報発行 等
さぬきプラザ 21 (会員数 20)	技術・市場関連の問題等に関する意見・情報の交換により、会員企業の技術及び経営力の向上を図るため、県内企業で構成された異業種交流の団体	○ 講演会 ○ 見学会 ○ 総会、交流会 ○ 会員間の情報交換 等
かがわプラザ 2004 (会員数 35)		
J S 研究会 (会員数 36)	県内中小企業の自立化推進や人材育成・経営基盤の強化等を研究するため、県内のものづくり系企業で組織された団体	○ 講演会 ○ 見学会 ○ 人材育成研修 ○ 総会、交流会 等
香川インテリジェントパーク交流推進協議会 (会員数 41)	香川インテリジェントパーク(KIP)に立地する企業や団体等の理解、交流及び情報交換を推進し、相互の技術、経営及び学術、文化の向上を図るために設立された団体	○ 総会 ○ 会員間の情報交換 ○ 香川インテリジェントパークの一斉清掃 ○ 献血 等

2. 香川県発明協会事務運営事業

1,315千円

一般社団法人香川県発明協会の事務運営業務を受託した。

法人会計

1. 一般管理運営事業

93,716千円

財団運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により財団事業の円滑実施に努めた。

[評議員会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第33回評議員会	令和 元年 5月 9日	持ち回り	1「理事の選任について」
第34回評議員会	令和 元年 5月 28日	持ち回り	1「評議員の選任について」
第35回評議員会	令和 元年 6月 25日	高松国際ホテル	1「理事及び監事の選任について」 2「評議員の選任について」
第36回評議員会	令和 元年 6月 25日	高松国際ホテル	1「評議員会会長の選定について」
第37回評議員会	令和 元年 7月 1日	持ち回り	1「監事の選任について」
第38回評議員会	令和 元年 8月 1日	持ち回り	1「評議員の選任について」
第39回評議員会	令和 元年 10月 1日	持ち回り	1「理事の選任について」

[理事会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第 1 0 2 回 理事会	令和 元年 6 月 6 日	香川産業頭 脳化センタ ービル1階 第1会議室	1「平成30年度事業報告及び収支決算について」 2「平成30年度資金運用実績について」 3「評議員会の招集について」
第 1 0 3 回 理事会	令和 元年 6 月 2 6 日	香川産業頭 脳化センタ ービル1階 第1会議室	1「理事長及び副理事長の選定について」
第 1 0 4 回 理事会	令和 元年 1 2 月 1 0 日	持ち回り	1「令和 元年度収支補正予算について」
第 1 0 5 回 理事会	令和 2 年 3 月 4 日	香川産業頭 脳化センタ ービル1階 第1会議室	1「令和 元年度収支補正予算について」 2「令和 2 年度事業計画及び収支予算について」 3「令和 2 年度資金運用計画について」 4「会計監査人報酬について」 5「常勤理事の報酬について」